

情報共有

福島事務所 4/27 9時レクメモ  
(放)

(非管理用)

東京電力株式会社

手許資料

4/27 (水) 福島事務所 9時定例レク概要

## &lt;説明内容&gt;

①プラント関連パラメータの状況報告（4月27日 5:00現在）【口頭説明】

②プラント状況・作業スケジュールについて【口頭説明】

- ・各号機の原子炉への注水について
- ・各号機のT/B地下階、トレンチのたまり水の水位について
- ・1号機窒素封入について
- ・1号炉内への注水量の変更について
- ・4号機使用済み燃料コンクリートポンプ車からの注水について
- ・飛散防止剤の樹脂散布作業について
- ・リモートコントロール重機によるガレキの撤去について
- ・1, 2号機～5, 6号機間連絡電源ケーブル布設作業について
- ・昨日のロボットの画像を提供準備中

## &lt;主な質疑&gt;

Q. 1号機の注水量はどれくらい増加させたのか。

A. 従来の約  $6\text{ m}^3/\text{h}$  → 最大  $14\text{ m}^3/\text{h}$  まで増やし、パラメータの動向を確認し、  
また  $6\text{ m}^3$  に戻す。

Q. 1号機の注水量を変更させた詳細時間について、確認できた時点で教えてほしい。

A. 了承。

Q. 4号機の放水量を減らしたのは、水漏れを想定してのことか？

A. 放水量、水位、温度等の相関関係や正確性を確認する。

水漏れについては否定はできない。

以上

4/  
27-6F

福島第一原発 1号機

(2枚) メモ録  
※ TTX版、情報共有中

東京電力株式会社

手許資料

4/27 (水) 福島事務所 11時 臨時レク概要

<説明内容>

- ①「福島第一原子力発電所における当社職員の被ばく線量限度の超過について」【資料配付】

<主な質疑>

Q. 預託実行線量とは。

A. 放射性物質を内部に取り込んでから50年後までにどれくらいの被ばくをするかを評価した線量。

Q. 何歳代の女性か。

A. 50歳代。

Q. どのような仕事に従事していたのか。

A. 消防資機材の管理や資機材の所在確認等の助言等を行っていた。

Q. どこで取り込んだのか。

A. 高濃度のダストの現場での作業により取り込んだものと思われる。

Q. どれくらい取り込んだか分かるのか。

A. WBCでの身体計測、半減期、排せつ等を踏まえ、50年分を積算し算出。

Q. 福島第一にいつまでいたのか。

A. 元々福島第一にいた社員で、3/11~23まで仕事をしていた。

Q. 毎日線量を測っているのか。

A. 日々APDを持参のうえ現場へ行き、戻ってきて台帳管理している。

Q. 男性の基準値は。

A. 通常は50mSv/年、100mSv/5年だが、緊急時である今回は250mSvである。

Q. 女性は緊急時でも適用されないのか。

A. その通り。

Q. WBCはいつやったのか。超過が分かったのはいつか。

A. WBCを受けた結果の評価がでて、現場作業の聞き取り作業を加え、本日結果が出た。

Q. 19名の中で、超過していない人は何人か。

A. 16名が大丈夫で、残り2名は評価中。

Q. 女性がいなくなつたことでの作業への影響は。

A. 福島第二バックヤード等で仕事をしていただいている。その人特有の作業はない。

Q. 19名の女性の年齢層は。

A. 18歳～50歳代。

Q. 爆発があつた際に退避させる必要があつたのではないか。23日に退避させたのは  
遅すぎではないか。

A. 実行線量を評価する上で内部被ばくを加味していなかつた点は反省している。  
退避の判断については、結果的にもう少し早く判断すべきであったと反省している。

Q. 規則を超えたのは初めてか。

A. 男女で初めて。

Q. 免震重要棟ずっと作業にあたつていたのか。

A. 屋外での作業をしていたこともある。作業時にマスクの隙間からダストが入つた  
可能性がある。

Q. 作業履歴は。

A. ここ何年かは消防関係の仕事をしており、今回の仕事の力量はあった。

Q. 19人全員社員か。

A. その通り。

Q. 男性では預託の計算をしているのか。

A. 100mSv超の時点で、一度WBCを受けるルールとなっている。ここで今回の  
ような合算をした上で250mSvを超えないようにしている。

Q. 保安院へは報告したのか。

A. 残り2名の結果後に報告する。富岡労働基準監督署には本日報告している。

以上

**情報共有****福島事務所 4/27 12時レクメモ**

(放)

**(非管理文)****東京電力株式会社****手許資料**

4/27 (水) 福島事務所 12時定例レク概要

**<説明内容>**

- ①パックボット (packbot) による1号機原子炉立屋の現場確認について【資料配付】
- ②T-HAWKによる原子炉立屋周囲の状況確認について【資料配付】
- ③三菱重工製遮蔽キャビン付きフォークリフトについて【資料配付】
- ④本日の作業進捗状況について説明

**<主な質疑>**

Q. 1u R/B SHCポンプ室付近の線量が非常に高いが、  
ポンプ室に炉水が漏れているのか?

A. 現時点では確認できていない。ロボットはポンプ室入口付近の線量を測定しているが、  
中には入っていない。

Q. 昨日は今回の線量も前回と同程度とのことだったが、かなり高いのではないか?

A. SHCポンプ室入口付近はスポット的に高い値だが、全体の雰囲気線量としては同程度。

Q. ポンプ室入り口付近の線量 ( $1120 \text{ mSv/h}$ ) によって、今後の作業への支障や、  
全体工程への影響等があるのではないか?

A. このままでは人が作業することは難しい値だが、  
今後状況をよく把握して遮蔽等の適切な処置にて対応する。

**以上**

福島第一原発、NISA会議 ← フレッシュホールド

情報共有 (2枚)

非機密メモ

東京電力株式会社

## 手許資料

4/27 (水) 福島事務所 20時定例レク概要

## &lt;説明内容&gt;

- ①「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ(4月26日 午後3時現在)【資料配付】
- ②「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について(第三十三報)」【資料配付】
- ③「福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について(第三十五報)」【資料配付】
- ④「福島第一原子力発電所2号機の取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について(統報23)」【資料配付】
- ⑤「集中廃棄物処理施設周辺サブドレン水核種分析結果(4/26現在)」【資料参考配付】
- ⑥「4月26日 1号機原子炉建屋内線量測定箇所及び測定結果」【資料参考配付】
- ⑦「福島第一・4号機使用済燃料プール水位の推移」【資料参考配付】
- ⑧作業状況のお知らせ【口頭説明】

○T/B地下階溜まり水について

○集中RWへの移送について

・RW(受入れ)側の水位は、18:00(初期値から) 994mm上昇。

○1u原子炉注水量増加について

・16:00パラメータ確認時、原子炉およびD/Wの圧力が低下傾向。  
安定するまで10立米/hを継続。

・22:00にパラメータ再確認予定。14立米/hにするか否か判断。

○4uSFP放水について

・12:18~14:02放水。  
放水前 水位:燃料頂部から6m上 水温:81°C  
放水後 水位:燃料頂部から7m上 水温:55°C

○リモートコントロールのガレキ撤去作業について

・9:00~16:00 3uR/B周辺で実施。

○飛散防止剤の樹脂散布について

・9:00~17:00 1u~4uT/B海側の7,500平米で実施。

○明日の工事予定

・1u原子炉注水量増加(本日22時パラメータ次第)  
・2uSFPへの注水(冷却浄化系)  
・ガレキ撤去、飛散防止剤の散布。

## &lt;主な質疑&gt;

Q. 1u圧力の最新データは?

A. 14:00現在 原子炉 0.440 MPa。  
D/W 0.145 MPa abs. であり、下降傾向。

Q. 22:00のパラメータ確認後、注水量を上げるのであれば、知らせてほしい。

A. (見送ることも含め) お知らせしたい。

Q. 注水量を上げた際は、前後の炉圧変化がわかるように  
圧力を一覧で示してほしい。

A. 検討したい。

Q. 免震重要棟内では、マスクやAPDを使用するのか。

A. マスクはつけない。APDについては、充電で必要であること、現場作業時に使用することとしたいため、棟内では使用しない。

Q. 本日プレスした当該女性の内部取込みは、免震重要棟においてのものか?

A. 棟外での現場作業中に取り込んだものと考える。

Q. 19名の女性のうち、非放射線業務従事者の4名については、線量上限値があるのか?  
一般公衆の1mSvなのか?

A. 確認したい。

Q. 4名の被ばく量や年齢は?

A. 確認したい。

Q. 4uのSFPは、漏えいはない、ということで良いか。

A. 全くないとは言えないが、大きな影響がある漏えいはないと考える。

以上